

6 2. 最終氷期の古環境復元 —伊吹・霊仙山系 周辺における植生の垂直分布の変化—

[日本学生科学賞] 滋賀県立米原高等学校地学部（地質班）指導教諭 坂本 大介
森野 泰行

●どんな研究なの？

私たち地学部では、始良 Tn 火山灰の降灰した頃の環境はどのようなものだったのかということ調べました。始良 Tn 火山灰とは、今からおよそ 2.6～2.9 万年前に始良カルデラ（現在の鹿児島湾）の形成にまつわる噴火のときに飛来してきた火山灰で、九州～東北地方の広い範囲に降灰しました。2.6～2.9 万年前はちょうど最終氷期とよばれる寒冷期に相当します。私たちはこの始良 Tn 火山灰を地層の目印にし、さまざまな標高で最終氷期の花粉化石を地層中から採集し、当時の植生を明らかにし、古環境の復元を試みました。